

令和元年度授業改善推進プラン(各教科)

文京区立千駄木小学校

令和元年9月

	課題意識をもたせ、学習意欲を高めさせる導入の工夫	対話を取り入れた授業の工夫(学び合い)	次時への意欲をもたせる、振り返り・まとめの工夫
国語	○単元の最初に、学習感想や話し合いをもとに立てた学習活動計画を提示し、学習の見通しをもたせる。	○自分の考えをペア、グループ、全体で話し合わせることで、違いや多様な考えがあることに気付かせ、共有させることで、学び合いのよさを実感できるようにする。	○めあてに対する振り返りを行うことで、今日学んだことや次に取り組みたいことを自分の言葉でまとめさせ、次時の学習に生かすことができるようにする。
社会	○写真や資料、体験的な学習から気付きや予想を立てさせることにより、学習の方向付けを行う。	○調べたことをもとに分かったことを話し合い、社会事象の意味やその事象に携わる人々の思い・願い等を全体で共有するという学習を設定し、社会に対する関心を高めさせる。	○本時のめあてに対して、調べて分かったことや学んだことを、自分の言葉でまとめる活動を設定する。また、友達のまとめ方から自分のまとめに必要な言葉などを取り入れる。
算数	○前時を振り返ったり、本時の問題場面を解釈したり(分かっていることは何か、分からないものや求めるものは何か等)することを通して、児童自らが本時の学習のめあてを見い出せるようにする。	○図、表、グラフ、式、キーワードなどを使って自分の考えを表現させ、ペアやグループ、全体の話し合いを、学習内容や習熟に応じた方法で行う。	○本時で分かったこととともに、新たな発見や問い、疑問などを書かせ、クラスで交流する。
理科	○興味・関心を高められるよう身近な自然の事物・事象に出会わせ、児童が解決したくなるような問題を提示する。	○問題に対する見方や考え方を明確に示した後、予想や仮説を立て、話し合いでは「自分の考えをより妥当なものにする」ことをねらいにして話し合わせる。	○学習前と学習後での問題に対する自分の考えを比べさせることで、学習を通して自然界の決まりや法則を知ったことを実感させ、次時の学習への意欲を高める。
生活	○児童が興味のもてる身近な人やものを教員が学習材として選定し、出会わせ方を工夫する。	○体験活動を取り入れ、調べたことや経験したことを伝え合う活動を通して、新たな気付きを共有し、学び合いの楽しさを実感できるようにする。	○毎時間、めあてに対する振り返りの時間を設け、よい気付きや深めたい考えをもっている児童の感想を共有する。
道徳	○児童の生活経験を尋ねたり、価値項目について考えたりして、短時間で即答できる発問やアンケートなど、資料への興味付けを図る工夫を行う。	○題材や体験などから考えたこと、感じたことを話し合うことにより、異なる考えに接することができるようにする。	○学習したことを振り返り、資料を通して考えたことや話し合ったことなどをワークシートに記入し発表することで、改めて自分の考えを考え直す機会を設ける。
音楽	○児童が新しい曲を学習する際、既習曲との共通事項を意識させたり、CDやDVDなどの資料によって、興味・関心を高めたりするなどの工夫をする。	○音楽鑑賞や表現活動を行う過程で、互いに気付いたことや感じ取ったことを言語化して交流したり、共有したり、共感し合ったりする場面を設ける。	○本時の授業で、技術的に習得したことや、それを生かして表現したいことなどを自分の言葉でワークシートにまとめ、発表することで皆で共有できるようにする。
図工	○児童のつづやきや発言を拾いながら学習活動へと導き、活動内容を掲示して制作過程を視覚化することで、見通しや作品に対する想いをもって活動に取り組めるようにする。	○活動中に作品を見合う場面を設け、互いに感じたことや考えたことを交流させ、作品のよさに気付かせる。	○ワークシートに、自分や友達の良いなと思える活動や「工夫して表現したところ」を中心に学習感想を書かせ、自他の変容に気付かせる。
家庭	○単元の初めにはオリエンテーションを行い、単元の目標やゴールを示し、見通しがもてるようにする。また、毎時間、安全面や活動の流れを示し、児童が安心して活動に取り組めるようにする。	○グループで調理や裁縫、清掃など学習に必要なことや方法を調べ、計画・実践・振り返りを行うことで、友達と交流しながら課題をやりとげる体験をさせ、協力・協働のよさに気付かせる。	○毎時間、ワークシートでめあてに対する振り返りを行い、年間を通してためていき、できるようになったことを実感できるようにする。また、家庭で取り組みたいことなどを書かせ、家庭実践への意欲につなげる。
体育	○単元の最初にオリエンテーションを行い、めあて、学習の流れ、安全面の配慮について指導し、見通しをもたせる。また、児童一人一人がめあてをもって取り組めるようにする。	○ペアやグループで互いに動きを見合い、様子を伝えたりアドバイスしたりすることができるようにする。	○めあてに沿った振り返り・自己評価をさせ、次の学習のめあてや意欲へつなげられるよう指導する。

